

# SGLT2阻害剤一覧表

詳細は各製品添付文書を確認してください

製品名	一般名	発売時期	販売会社名	効能・効果／用法・用量				薬価
				2型糖尿病	1型糖尿病	慢性心不全*1	慢性腎臓病*2	
④フォシーガ	ダバグリフロジン	2014/5	アストラゼネカ 小野薬品工業	通常、成人にはダバグリフロジンとして5mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら10mg1日1回に増量することができる。	インスリン製剤との併用において、通常、成人にはダバグリフロジンとして5mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら10mg1日1回に増量することができる。	通常、成人にはダバグリフロジンとして10mgを1日1回経口投与する。*3*4	通常、成人にはダバグリフロジンとして10mgを1日1回経口投与する。*3*5	5mg
								10mg
④スーグラ	イブラグリフロジン	2014/4	アステラス製薬 寿製薬	通常、成人にはイブラグリフロジンとして50mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら100mg1日1回まで増量することができる。	インスリン製剤との併用において、通常、成人にはイブラグリフロジンとして50mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら100mg1日1回まで増量することができる。	—	—	25mg
								126.10円
								50mg
ルセフィ	ルセオグリフロジン	2014/5	大正製薬	通常、成人にはルセオグリフロジンとして2.5mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら5mg1日1回に増量することができる。	—	—	—	2.5mg
								170.70円
								5mg
デベルザ アブルウェイ	トホグリフロジン	2014/5	興和	通常、成人にはトホグリフロジンとして20mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。	—	—	—	デベルザ 20mg
								185.40円
								アブルウェイ 20mg
カナグル	カナグリフロジン	2014/9	田辺三菱製薬 第一三共	通常、成人にはカナグリフロジンとして100mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。	—	—	—	100mg
								176.70円
④ジャディアンス	エンパグリフロジン	2015/2	ベーリンガー インゲルハイム イーライリリー	通常、成人にはエンパグリフロジンとして10mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら25mg1日1回に増量することができる。	—	—	—	10mg
								189.70円
								25mg
								323.90円

(2021年8月現在)

- \*1 効能又は効果:慢性心不全 ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る。
- \*2 効能又は効果:慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く。
- \*3 1型糖尿病を合併する患者では、糖尿病治療に精通した医師あるいはその指導のもとで、適切な対応が行える管理下で5mg1日1回から投与を開始すること。また、

- 経過を十分に観察しながらインスリン量を調整した後、10mg1日1回に増量すること。5mg1日1回では慢性心不全及び慢性腎臓病に対する有効性は確認されていない。
- \*4 左室駆出率の保たれた慢性心不全における本薬の有効性及び安全性は確立していないため、左室駆出率の低下した慢性心不全患者に投与すること。

- \*5 eGFRが25mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満の患者では、本剤の腎保護作用が十分に得られない可能性があること、本剤投与中にeGFRが低下することがあり、腎機能障害が悪化するおそれがあることから、投与の必要性を慎重に判断すること。eGFRが25mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満の患者を対象とした臨床試験は実施していない。